第127回

オルガン演奏会

2013年10月15日(火) 18時45分　900番教室(講堂)

Tue. 15 October 6:45 pm Hall No. 900 at Komaba Campus, The University of Tokyo

オルガン：パヴェル・コホウト
Organ: Pavel Kohout

J・S・バッハ　Johann Sebastian Bach (1685-1750)
協奏曲 ト長調　Concerto G-Dur BWV 592

J・パッヘルベル　Johann Pachelbel (1653-1706)
「アポロの六弦琴」より6曲のアリア
Aria Quinta con variazioni I-VI (da Hexachordum Apollinis)

C・P・E・バッハ　Carl Philipp Emanuel Bach (1714-1788)
ソナタ ヘ長調　Sonata F-Dur Wq 70/4

J・K・ヴァニュハル　Jan Křtitel Vaňhal (1739-1813)
前奏曲第1番 ハ長調　Preambulum Nr. 1 C-Dur

J・H・クネヒト　Justin Heinrich Knecht (1752-1817)
主題と4つの変奏 ハ長調　Thema e variazioni IV C-Dur

F・A・フーグル　Franz Anton Hugl (1706-1745)
フーガ ロ長調　Fuge H-Dur

L・J・A・ルフェビュール＝ヴェリー
Louis James Alfred Lefébure-Wély (1817-1869)
演奏会用ボレロ 作品166　Boléro de concert op. 166

J・S・バッハ　Johann Sebastian Bach (1685-1750)
トッカータとフーガ ニ短調
Toccata und Fuge d-Moll BWV 565

■入場無料（先着500名）
開場18時15分

J・V・H・ヴォジーシェク
Jan Václav Hugo Voříšek (1791-1825)
変奏曲 変ロ長調 作品19
Variace B-Dur op. 19

C・ドビュッシー
Claude Debussy (1862-1918)
アラベスクより第1曲　1re Arabesque

A・ドヴォルザーク　Antonín Dvořák (1841-1904)
「影絵」（作品8）より11番、12番
Silhouette op. 8 Nr. 11, Nr. 12

L・ヤナーチェク　Leoš Janáček (1854-1928)
「草が茂る小道を通って」より2「落ち葉」、
5「彼らはツバメのようにしゃべった」、9「涙ながらに」
2. Lístek odvanutý, 5. Štěbetaly jak laštovičky, 9. V pláči, «Po zarostlém chodníčku»

V・ノヴァーク　Vítězslav Novák (1870-1949)
「落ち着きなく」　Inquieto

F・ショパン　Fryderyk Chopin (1810-1849)
夜想曲第1曲 ヘ長調 作品15　Nokturn N.1 F-Dur op. 15
夜想曲 ホ短調 作品72　Nokturn e-Moll op. 72
「12の練習曲」作品10より「革命」　Rewolucyjna, «12 etiud » op. 10

第12回

室内楽演奏会

2013年10月16日(水) 15時（開場14時30分）

Wed. 16 October 3:00 pm (Doors open at 2:30 pm)

東京大学教養学部駒場コミュニケーションプラザ北館2階 音楽実習室
College of Arts and Sciences, The University of Tokyo, Music Practice Room, Komaba Communication Plaza

ピアノ：パヴェル・コホウト　Piano: Pavel Kohout

■東京大学の学生・教職員および駒場友の会会員・会友限定（同伴不可）
■入場無料　定員120名　全席自由　予約不要
■演奏会当日は、学生証・教職員証または会員証・会友証をご携帯ください

This concert is exclusive to students and staff of The University of Tokyo and members of The Friends of Komaba.
Admission free. 120 seats available. Reservation not required. Please bring your ID with you to the concert.

主催：東京大学大学院総合文化研究科・教養学部オルガン委員会　共催：駒場友の会
Organized by The Piano Committee, College of Arts and Sciences, The University of Tokyo, and in collaboration with The Friends of Komaba

演奏者プロフィール

artist©photo archive

パヴェル・コホウト
（オルガン／ピアノ）

Pavel Kohout (organ / piano)

1976年生まれ。プラハの音楽院及び芸術アカデミー音楽学部を卒業後、アムステルダムで勉学を続け、歴史的オルガンの研究と演奏で著名な専門家ジャック・ヴァン・オールトメルセンに師事。ヨーロッパで数々のコンクールで第一位を受賞し、2000年には、東京武蔵野市で4年に一度開かれる世界で最大の国際オルガン・コンクールで、金賞とJ・S・バッハ賞を獲得。現在、ヨーロッパの新世代のオルガニストを代表する一人。研究も同時に続け、プラハ芸術アカデミーにて、南ドイツ・バロック・オルガン曲の演奏史についての論文で博士号を取得。

ソリストとしてのみならず、数々のオーケストラとも共演し、その活躍の舞台は、ヨーロッパ、ロシア、イスラエル、ニュージーランド、シリア、日本、香港、アメリカと世界各地にまたがっている。中でも、2008年、オーストラリアの二度目の訪問時にオーケストラ・ヴィクトリアと行った、アレクサンドル・ギルマンの「オルガンと管弦楽のための交響曲第1番」の演奏は、好評を博した。演奏家としてだけでなく、チェコ国営ラジオ放送とのオルガン講習会の企画など、教育・啓蒙の面でも積極的に活動。

ソリストとして発表したCDに、「プラハ－バロックの黄金時代（Prague−L'âge d'or baroque）」、「ボヘミアの黄金精神（Anima Aurea Bohemiae）」、「天才J・S・バッハ（Genius Johann Sebastian Bach）」などがある。

駒場キャンパスの音楽活動について

1977年に、森泰吉郎氏（森ビル株式会社初代社長）のご寄贈によって緑に囲まれた900番教室（講堂）にパイプオルガンが設置されました。以来、音楽を愛する教職員によるオルガン委員会が中心となって定期的に演奏会が開催され、学生はもとより広く市民の方々にも愛されています。
また、2006年秋には、スタインウェイのフルコンサート・グランドピアノが駒場コミュニケーションプラザ北館2階の音楽実習室に設置されました。音楽実習室では2007年よりオーディションによって選抜された学生による学生選抜コンサートが開催されるなど、駒場キャンパスの音楽活動の軸となっています。
こうした多彩な駒場の音楽活動は「駒場音楽振興基金」（駒場友の会）からの補助によって支えられています。皆様からのご寄付をお寄せくださいますようにお願いいたします。

〒153-8902　東京都目黒区駒場 3-8-1
東京大学教養学部
オルガン委員会　http://organ.c.u-tokyo.ac.jp/
ピ ア ノ委員会　http://piano.c.u-tokyo.ac.jp/
Tel. 03-5454-6139（駒場博物館）
Tel. 03-3467-3536（駒場友の会）